<別紙２－２ー３（内容評価・保育所版）>

第三者評価結果

横浜市すすき野保育園　（横浜サステナビリティ研究センター）

Ａ-１　保育内容

		第三者評価結果
Ａ-１-（１）　保育課程の編成		
【Ａ1】	Ａ－1－(1)－①　保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度全体的な計画」、ヒアリング
【確認した点】
・「全体的な計画」は、「保育所保育指針」や「よこはまの保育」を基に、保育理念、保育方針や園の保育目標を掲げて編成している。
・当年度の園の保育目標を「のびのびとあそぼう～豊かな心と丈夫な体～」とし、子ども達が“のびのびと遊ぶ”姿を大切にする内容となっている。
【評価した点】
・年度末に各クラス担任が当年度の計画を振り返り、次年度に向けての改善点を書き入れ、さらに担任以外のフリーの保育士にも回覧しコメントをもらって反映し、主任保育士・園長の最終確認を経て、次年度の計画策定につなげている。

Ａ-１-（２）　環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
【Ａ2】	Ａ－1－(2)－①　生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「0歳クラス日誌」「R5年度早番安全点検表」「R5年度戸外遊びの約束」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・各保育室は、保護者の送迎の動線と子ども達の生活や遊びの動線が考慮された配置になっている。
・各保育室には空気清浄器や扇風機、温湿度計を設置し、空調や温度管理に配慮している。クラス日誌に毎日の天気・温度・湿度を記録している。
・トイレは自動水洗、暖房、温便座を設置し衛生的かつ快適に利用できる。
【評価した点】
・「早番安全点検表」に、施設や園庭、遊具、玩具、掲示物等について約25項目の安全点検項目をあげ各項目をどのような観点で点検すべきかを細かく記載し、広い施設を効率的に点検するために工夫している。また、月～土(毎日)の点検項目に加え、土曜(週1)の特別点検項目も設定し、園の周辺や門扉・倉庫に至るまで点検が行き届いている。
【参考意見】
・一部の上履き入れやロッカーの角がある箇所にコーナーガードを設置して怪我防止に努めるとよい。

【A3】	A－1－(2)－② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度年間指導計画」「令和5年度月間指導計画」「より良い保育のためのチェックリスト」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・「年間指導計画」及び「月間指導計画」には、一人ひとりの特性や発達状態に合った声掛けを行うことや、一人ひとりの気持ちを受け止めて安心して過ごせるよう配慮する等、一人ひとりの子どもを受容するための援助内容を記載している。
・「より良い保育のためのチェックリスト」を全職員に配布し、子どもへの接し方や言葉の掛け方についてセルフチェックを行っている。
・「月間指導計画」にて、個別配慮児に対してはより詳細に指導計画を記載し、各月の一人ひとりの状況を踏まえて、どのような接し方をすべきかを細かく記載している。
【評価した点】
・日々のミーティングで、子どもの発達状況や、体調の変化、家庭の事情等、園児一人ひとりの様子を保育士・職員全体で共有している。訪問調査日(R5.12.11)のミーティングにおいても、発疹が出て保護者へ連絡した園児や家庭の事情で休む園児等について丁寧な報告・相談を行っていた。

【A4】	A－1－(2)－③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度全体的な計画」「令和5年度年間指導計画」「ドキュメンテーション」、ヒアリング
【確認した点】
・「令和5年度全体的な計画」「令和5年度年間指導計画」に、身の周りのことをやってみようとすることや、生活習慣を身に付けること等を各年齢の保育目標に掲げている。
・棚、ロッカー、荷物掛けのフック等に園児それぞれのマークを付し、自分の衣類や靴を所定の場所から出し入れすることを楽しくわかりやすく習慣付けている。
【評価した点】
・2歳クラスの子どもの着脱にあたり、裏返しになった洋服を直そうとする姿を保育士がしばらく見守り、それぞれの子どもなりの方法・順番での着脱を尊重し、できたことややろうとする気持ちを共感している様子がうかがえた。また、その様子が「うらがえし」と題して「ドキュメンテーション」(R5.10.13)で保護者にも共有されている。

【Ａ5】	Ａ－1－(２)－④　子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度行事予定表」「週案」「係活動報告ファイル」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・１日の予定を絵カードや時計、文字を活用して掲示し、クラスの必要に応じて英語表記の絵カードも用意する等し、子ども達が見通しをもって自発的に行動できるよう工夫している。
・園庭遊び(雨の日以外)、散歩(幼児クラスは月5回以上、乳児クラスは秋以降に回数を増やしている)を週案にて計画し、戸外で遊ぶ機会と環境を確保している。
・夏まつりのおみこし作りや運動会の競技等の行事を通して、友達と協力して一つの目的を達成する活動を設け、友達関係の構築につなげている。
【評価した点】
・外部講師による体育指導、地域ボランティアによるおはなし会、消防署来園による防災訓練、東急バス営業所の見学等、地域との交流や社会体験ができる取り組みを幅広く取り入れている。
・園庭の広さに恵まれた園であり、この広さを活かし園庭の整備に力を入れている。特に今年度は園庭係の保育士を中心にみかんの森の整備に取り掛かり、土を盛り小高い丘を設け、植栽を入れて、子ども達の遊びが豊かになるよう工夫している。

【Ａ6】	Ａ－1－(２)－⑤　乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度年間指導計画」「令和5年度個別指導計画(個人案)」「クラスミーティング記録」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・「個別指導計画」にて、各園児の発達状況や好み、保護者の関心事等を記載し、これに基づく当月の取り組みを一人ひとり丁寧に記載している。
・担任以外に関わるフリーの保育士について、一定の保育士が入るようシフトを工夫して組んでおり、0歳クラスの園児達が安心して過ごせるような環境作りをしている。
・音の鳴る玩具や乗り物の玩具等で一人で遊べるコーナーや、体を動かすことのできる階段や坂を設置したコーナーを作り、興味・関心に応じて遊べるよう環境を整えている。
【評価した点】
・0歳クラスの保育室の畳をクッションマットに変更し、劣化した畳による怪我の懸念解消、拭き掃除をしやすくなる等、安全面・衛生面の改善を図っている。

【Ａ7】	Ａ－1－(２)－⑥　　1歳以上３歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度個別指導計画(個人案)」「乳児用連絡票兼個人記録」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・「個別指導計画」に、各園児の発達状況や好みや保護者の関心事等を記載し、これに基づく当月の取り組みを一人ひとり丁寧に記載している。
・子ども達の発達状況や好みに応じて、玩具の入れ替えを適宜行い、子ども達が飽きずに新鮮な気持ちで玩具を利用でき、成長に応じて楽しめる玩具が変化していくように玩具の環境を整えている。
・日々の「乳児用連絡票兼個人記録」にて、家庭でのトイレトレーニングの進み具合や食事の様子等を共有し、子どもが安心して過ごせるように家庭の状況を踏まえた保育を行っている。
【評価した点】
・他のクラスと合同で散歩に出かける機会や戸外遊びの際に年長児に靴や靴下の着脱を手伝ってもらう機会、地域ケアプラザに訪問し高齢者との世代間交流する機会等を設けて、異年齢の交流や、地域社会との交流を積極的に取り入れている。

【Ａ8】	Ａ－1－(２)－⑦　　３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「ドキュメンテーション」「園庭開放まつりファイル」「週案」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・3・4・5歳クラスの保育室は、机上遊びのコーナー(パズル・カルタ・リバーシ等）、ままごとコーナーや絵本コーナー等、遊びに応じて所定のコーナーに玩具を配置し、その時の子どもの興味・関心に応じて自由に選んで玩具を手に取れるような環境作りをしている。
・4・5歳クラスでは当番活動を取り入れ、当番やグループ名を決めるために友達と話し合う機会をもち、クラスや他クラスの友達のために役割を果たす経験ができている。
【評価した点】
・園庭開放まつり(R5.11.15)に向けて園児が協力して歌やダンスを練習し、地域から参加する親子に披露して、子ども達の取り組みの成果を地域へ伝える場を設けている。また、その様子を保護者へ「ドキュメンテーション」で共有している。

【A 9】	A −1−(2)−⑧　障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度個別指導計画(個人案)」「地域療育センターあおば巡回相談申込書」「研修報告」、ヒアリング
【確認した点】
・「個別指導計画」は個々の状況に合わせて作成しており、食事や着替えの生活面での配慮事項や、日々の遊び、散歩や園外活動等における援助について、細かく記載している。
・要配慮児研修(R5.8.28)を受講した保育士が、研修で学んだ内容及び今後の職務で活かせる点を「研修報告」にまとめ、全職員に共有している。
・「横浜市すすき野保育園利用のご案内（兼重要事項説明書）」に記載があり、入園の際には、入園説明会等で様々な状況にある子どもと一緒に過ごす旨を伝えている。
【評価した点】
・横浜市地域療育センターあおばと連携し、巡回訪問等を実施している。情報は職員と共有し保育に活用している。

【A 10】	A −1−(2)−⑨　長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度年間指導計画」「令和5年度月間指導計画」「会議記録」「引き継ぎノート」、現場観察、ヒアリング
【確認した点】
・「年間指導計画」及び「月間指導計画」には長時間にわたる保育の欄を設け、子どもが長時間保育園で過ごす上で配慮すべき事項を、その時期・その月の活動状況に応じて細かく記載している。
・6月のカリキュラム会議の中で、「長時間の保育」をテーマに職員間で協議し、課題の洗い出しを行っている。
【評価した点】
・保育士が交代する際の申し送り事項は「引き継ぎノート」に記載し、さらに口頭でも伝えて引き継いでいる。
「引き継ぎノート」は登園時・降園時の申し送り事項が識別できるよう記入ルールを全職員で統一し、降園時に保護者に連絡事項がある場合は、保護者に渡す連絡帳に目印(クリップ)を付けて、伝えたら外すような運用ルールを作り、引き継ぎ漏れ防止の工夫をしている。

【A 11】	A －1－(２)－⑩　小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年度全体的な計画」「令和5年度年間指導計画」「横浜市保育所児童保育要録」「ちょうちょぐみ いろんなことマラソン」(自作ポスター)、現場観察、ヒアリング
【確認した点】
・「全体的な計画」及び5歳クラスの「年間指導計画」に幼保小連携への取り組みや、就学を無理なく迎えていくための配慮事項を記載している。
・「横浜市保育所児童保育要録」は、5歳クラスの担任間で内容を相談・共有の上で記入し、フリー保育士からのコメントも取り入れながら内容を調整し、主任保育士と園長による内容確認を経て、時間をかけて丁寧に作成している。
【評価した点】
・年度初めにクラスのねらいや年間の活動・行事について子どもたち話し合い、「ちょうちょぐみいろんなことマラソン」と題して、コース上にセットされた行事(運動会や遠足、大きくなったねの会等)を経て小学校就学に向かっていく道筋を表現している。年度初めの保護者の懇談会でも共有し、園児と保育者と保護者が一体となって就学までのステップを共有できるよう取り組んでいる。

A - 1 - (３)　健康管理

【A 12】	A －1－(３)－①　子どもの健康管理を適切に行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「健康について(令和5年)」「令和5年度保育における保健計画」「熱性けいれんの子の検温について(R5年4月)」「嘔吐物の処理について」「SIDS(掲示物)」「ブレスチェック表(R5.12.8)」、ヒアリング
【確認した点】
・子どもの健康管理マニュアルとして「健康について」を、保健計画として「保育における保健計画」を作成し毎年更新している。
・乳幼児突然死症候群（SIDS）の発生原因や予防方法、緊急時対応についてポイントをまとめ、保護者が送迎時に見える場所に掲示し周知を図り、保育士はSIDSの研修を受講または研修内容の共有を受けて予防法や対応法を身に着けている。また「保育における保健計画」に基づいて、0歳は5分毎、1歳は10分毎のブレスチェックを行い「ブレスチェック表」に記録している。
【評価した点】
・訪問調査日(R5.12.11)にて、昼食後に発疹が出た園児について、発疹消失までの時間を正確に計測し、今後の参考のために患部の写真を撮影し、保護者へ連絡して家庭での発生状況について聞き取るなど、丁寧に対応していた。
また当日のミーティングで他の保育士や園長とも情報共有していた。

【A13】	A－1－(3)－②　　　健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「健康台帳」「歯科健康診査票」「園だより」「保健だより　すくすく」、現場確認（ミーティングの様子）、ヒアリング
【確認した点】
・健康診断（年2回）、歯科健診（年2回）の結果を「健康台帳」「歯科健康診査票」に記録している。
・健康診断の結果は口頭で、歯科健診の結果は必要に応じて書面で保護者に伝えている。
・健康診断等で嘱託医が来園するにあたり、事前に保護者から健康上の気になることを申し出てもらい、嘱託医からの回答や助言を保護者に伝え、家庭での健康管理に役立てられるようにしている。保護者からの健康に関する相談・共有事項は「健康台帳」や「個別指導計画」に反映している。
・保育士も子ども達の健康について疑問や懸念点があれば嘱託医に相談するようにしている。
【評価した点】
・毎日のミーティングにて怪我や体調などを報告して情報共有している。
【参考意見】
・園児に対して紙芝居や動画等を用いた歯磨き指導を実施して、歯磨きの重要性について啓蒙を図るとよい。

【A14】	A－1－(3)－③　　　アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「すすき野保育園　食物アレルギー対応マニュアル」「すすき野保育園　食物アレルギー対応マニュアル延長版」「アレルギー誤食対応マニュアル」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・横浜市こども青少年局・横浜市医師会保育園医部会作成の「保育所におけるアレルギー対応マニュアル」を基に、「すすき野保育園　食物アレルギー対応マニュアル」、「アレルギー誤食対応マニュアル」を作成し、毎年見直しを行っている。
・アレルギー担当の保育士を選出し「アレルギー研修」「エピペン使用研修」を受講しており、その研修報告を、他職員と共有している。
・保護者、園長、主任、保育士、調理員が、翌月の献立確認のための打ち合わせ(面談)にて除去食や代替品を確認し、また、万が一誤食が起きた場合の園での対応方法も保護者と確認している。
【評価した点】
・該当児の食事は他児と異なる専用食器とトレーに名札を付けて提供し、調理室から食事を受け取る際に調理員と保育士で食事内容について声を出してダブルチェックしている。保育室内では個人専用テーブルと専用布巾を使用し、該当児が着席していることを確認して一番に配膳している。

A-1-（4）　食事		
【A15】	A －1－(4)－①　　食事を楽しむことができるよう工夫している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「令和5年全体的な計画」「令和5年年間指導計画」「令和5年度個別指導計画(個人案)」、ヒアリング
【確認した点】
・「全体的な計画」及び「年間指導計画」にて、1年を通して季節や年齢に応じた食育が計画されている。
・園の玄関に本日の給食を展示しており、保護者が食事の内容を(献立表ではなく)直接確認できたり、子どもと今日の給食について会話する機会につながっている。
・乳児の離乳食については、「個別指導計画」にて個々の成長や好み、家庭での離乳食の進み具合等を踏まえ、個々の食事のとり方を計画し、経過も記録している。
【評価した点】
・全クラスで、園内の畑やプランターにて野菜を栽培し、食事やおやつで食べる取り組みをしている。幼児クラスは種まきから収穫、調理して食べるまでを経験できるようにし、食への関心を高める取り組みをしている。
・幼児クラスは、トウモロコシやソラマメの皮むきや、おにぎりパーティー、せんべいバイキング等のお楽しみ給食を実施している。

【A16】	A －1－(4)－②　　子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a

<コメント>
【確認手段】資料「給食だより」「ぱくぱくだより」「離乳食予定献立表」「給食日誌」「衛生管理マニュアル」、現場観察、ヒアリング
【確認した点】
・担任間で子どもの食の好みや喫食量を共有し、苦手な食材が出た子どもには、一口だけ挑戦してみるよう促したり、食べられる量を相談したりして子どもの食事を大切に取り組んでいる。
・横浜のご当地メニュー(例：サンマー麺)や、行事食（七夕、ひな祭り）を取り入れたり、季節の食材を使った献立となっている。
・毎日の「給食日誌」に残食記録や検食記録を記入している。
・「衛生管理マニュアル」に基づき衛生管理を行っており、月に1回は園長もマニュアル通りに衛生管理されているかを確認し記録している。
【評価した点】
・毎日のミーティングで各クラスから喫食状況を保育士と調理員で共有しており、特に乳児クラスでは提供される食材の大きさ・堅さ・食べやすさについても細かく共有し、子どもがより食べやすく提供できるよう取り組んでいる。

A-2　子育て支援

		第三者評価結果
A-2-（1）　家庭との緊密な連携		
【A17】	A－２－(１)－①　　子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「乳児用連絡票兼個人記録」（乳児）、「ドキュメンテーション」（幼児）、「ミーティングノート」「令和5年度行事予定表」、保育園業務支援システム「コドモン」、現場確認
【確認した点】
・乳児クラスは複写式の「乳児用連絡票兼個人記録」を用いて、個別に毎日情報交換を行っている。
・幼児クラスは、園での様子の写真を掲載した「ドキュメンテーション」を毎日作成して、保護者に情報が視覚的に伝わるよう努めている。
【評価した点】
・クラス毎に年間のねらいや保育姿勢の説明を可視化した手作りのポスターを掲示することで、わかりやすく周知している。
・保育参加、運動会、親子ふれあいデー、大きくなったねの会等、保護者が参加・体験する機会を設けている。
・運動会や「大きくなったねの会」等に保護者が参加し、それらのイベント後に保護者アンケートを実施して保護者の意見収集に努め、保護者と子どもの成長を共有できるようにしている。
・保護者への連絡事項は園内掲示板の他、保育園業務支援システム「コドモン」、Instagram「おかわりなしかちゃんねる」、ドキュメンテーションを活用して情報発信に努めている。
【参考意見】
・保護者に1日の様子をドキュメンテーションで情報提供しているが、保育園業務支援システム「コドモン」等により日々、写真付のコメントを配信して、保護者がいつでも様子を確認できるよう配慮するとよい。

A-2-（2）　保護者等の支援		
【A18】	A－２－(２)－①　　保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「連絡帳」「ドキュメンテーション」「面談記録」「経過記録」「臨床心理士相談記録簿」、現場確認、ヒアリング
【確認した点】
・日々の連絡帳・ドキュメンテーションや送迎時のコミュニケーションにより、保護者との情報共有・信頼関係構築に務めている。
・個人面談を年1回、保護者からの要望により随時追加して面談を実施している。保護者が参加しやすいタイミングを選択できるような時間設定に努めている。職員のシフト勤務を活かし、迎えが遅い場合にも可能な限り対応している。
・青葉区こども家庭支援課や青葉区地域療育センターあおば等との連携を密にし、必要があれば保護者が専門機関に関われるような体制作りをしている。
【評価した点】
・適切な保護者対応をするために、臨床心理士派遣事業を活用した研修を職員が受講し、次の研修では職員が希望する研修内容の研修計画を立てて相談・助言を受けられる機会を設けている。

【A19】	A－２－(２)－② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「虐待防止マニュアル」「虐待対応の通報のためのフロー図」「虐待等配慮児」、ヒアリング
【確認した点】
・各クラスに子どもを虐待から守る条例や、虐待対応の通報のためのフロー図などのマニュアルを備え、虐待防止に努めている。
・虐待が疑われる際には、状態を速やかに園長や主任に報告している。
・毎年、青葉区主催の児童虐待防止研修に職員が出席して情報共有している。
・青葉区こども家庭支援課、こどもの権利擁護担当や児童相談所に報告や通報を行い、連携を図っている。
【評価した点】
・子どもの人権およびプライバシーの保護を大切にしながら、常に子どもたちの視診等を丁寧に行い、何かあれば関係機関と情報をすみやかに共有している。

A-３ 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-３-（１） 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
【A20】	A－３－(１)－① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a

<コメント>
【確認手段】資料「保育日誌」「月間指導計画」「年間指導計画」「保育士キャリアラダー」「目標共有シート」「会議ノート」「令和4年度年間指導計画の振り返り」、ヒアリング
【確認した点】
・クラス会議・幼児会議・乳児会議を月1〜2回開催し、各クラスの状況を共有している。
・定期的に保育実践の振り返りを行い、各会議でもたらされた意見や考えを自分のものとして捉え、その内容を含めて「月間指導計画」を立て、次の保育に活かしている。
【評価した点】
・毎日の日誌の振り返りや、年度末の各自の自己評価を保育所自己評価に照らし合わせて全体会議で共有し、それらを踏まえて、次年度の各プロジェクトや保育実践につなげ、工夫や改善を行い、学び合い専門性の向上やチーム力の向上につなげている。
・保育士等の自己評価は年度末に実施し、「保育士のキャリアラダー」や「目標共有シート」を用いて、自己評価を行っている。園長との面談（「保育士のキャリアラダー」は年初と年末、「目標共有シート」は年初・中間・年末）にて振り返りの結果を共有し、面談における園長のコメントを記録して、次年度の目標設定等に活かしている。